

利用できる施設・機器

<施設・機器>

当センターの教育研究業務に支障をきたさない限り、次の施設・機器等を利用することができます。

施設・機器	摘 要
講義室	定員 24 名、液晶プロジェクター・スクリーン、黒板
実験室	実験台2台、電子天秤、遠心機、恒温器等の各種分析機器
小会議室	訪問教員控室として利用可、LAN 接続あり
宿泊棟	プレハブ平屋建(114m ²)。宿泊室2(12名用、8名用)、研修室2、洗面台4・トイレ2・シャワー室6
調査船	船外機付きボート(全長 6.8m、船外機 90 馬力、定員 11 名)
船舶用調査機器	水質計、バンドン採水器、エクマンバージ採泥器、各種プランクトンネット、稚魚ネット、魚群探知機などの各種湖沼調査機器
実習用器具	胴長、手網、小型地曳網、バケツ、サンプル管、バット、ピンセット、防水懐中電灯など
実習用顕微鏡	実体顕微鏡 18 台、生物顕微鏡 8 台
実習用図書	図鑑 120 冊、参考図書 500 冊

※機器の使用はセンター職員の指示に従ってください。消耗品の実費をお支払いいただくことがあります。

<宿泊棟の定員及び使用料金>

宿泊室は2部屋あり、12名用と8名用からなります。宿泊棟1人1泊当たりの使用料とシーツ代等の実費は、次の表の通りです。

区 分	宿泊棟使用料	シーツ代等
1)国立大学の教職員及び学生	0 円	500 円
2)上記 1 以外の者	400 円	500 円

※通常、実習時の食事は弁当を注文しますが（実費負担）、センターの厨房を利用して自炊することもできます。市街地に近接しているため、車があれば外食は容易にできます。観光地（潮来、鹿島神宮）も近いので、車で周辺の宿泊施設から通うこともできます。